

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	自己評価 48	日常生活の中で利用者が何もする事がなく、机に伏せてみえたり、テレビだけを観続け、会話のない時間がみうけられる。この様な時間を減らし活気ある生活へと変えていくには何が必要か？	日々の生活が活気にあふれるものになる様、レクリエーションや作業等、残存機能を活かした活動を提供していく。またその中でコミュニケーションを通し、お互いの信頼関係を築き深めていく。	落ち着いた時間の中で、短時間でも良いので、利用者にあったレクリエーションの提供を検討。職員が軸になり利用者同士や職員とのコミュニケーションを多く取り、信頼関係を築き、深めるにはどの様なレクリエーションが良いか検討し、プログラムを作成、フロアに掲示する。	5ヶ月
2	外部評価 (18)	特に冬季など、散歩に出かけていただく事が困難な季節の場合などに外出の機会が減ってしまう。どの様に外出の機会を増やし、気分転換を図って頂くのが良いか？	福祉車両を利用し喫茶店など天候に左右されない場所へ出かけ、楽しみ事を増やしたい。	今までも利用したことがある、喫茶店に必ず月1回は外出する計画を立て、実行する。ホーム内で飲むコーヒーとは違う味を楽しんで頂き、利用者様に喜んで頂く。	2ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。